

2003年11月の東北地方の天候

【 11月の特徴 】

- ・ 高温
- ・ 東北日本海側の多照、東北太平洋側の寡照
- ・ 下旬の多雨・寡照

(1) 概況

気圧の谷は数日の周期で通過した。ただし、上旬前半は高気圧に覆われ晴れる日が多く、サハリン付近を通る低気圧に向かって暖かい南風が入り、各地で11月としては記録的に高い日最高気温を観測した((7)参照)。中・下旬は、気圧の谷の通過後一時的に寒気が南下し、冬型の気圧配置が強まったが長続きしなかった。このため、気温は高く経過し、東北日本海側で多照、東北太平洋側で寡照となった。また、下旬は南岸低気圧や前線の影響を受けやすく、多雨・寡照となった。

月平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。月降水量は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。月間日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。

(2) 天候経過

上旬： 前半は、3日に寒冷前線が通過し曇りや雨の所があったが、その他の日は高気圧に覆われ晴れた。後半は、前線が本州上や南岸に停滞し、曇りや雨の日が多かった。

なお、初めサハリン付近を通る低気圧に向かって南から暖かい空気が入り、各地で11月としては記録的に高い日最高気温を観測した((7)参照)。一方、5日には若松で初霜を観測した。

平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。日照時間は平年並。

中旬： 16日に寒冷前線が通過した後一時的に冬型の気圧配置となった他は、冬型の気圧配置は現れなかった。前線や低気圧、寒気の影響で曇りや雨の日もあったが、東北日本海側を中心に平年に比べ晴れの日が多かった。なお、16日は青森県で強い雨により浸水害や土砂崩れが発生した。

各地で初霜、初氷を観測した((8)参照)。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。

下旬： 気圧の谷が数日の周期で通過し、南岸低気圧や前線の影響を受けやすかった。なお、21日の深い気圧の谷の通過後は強い寒気が南下したため、冬型の気圧配置が強まって東北日本海側を中心に雪または雨となり、各地で初雪を観測した((8)参照)。

平均気温は高い。降水量はかなり多い。日照時間は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。

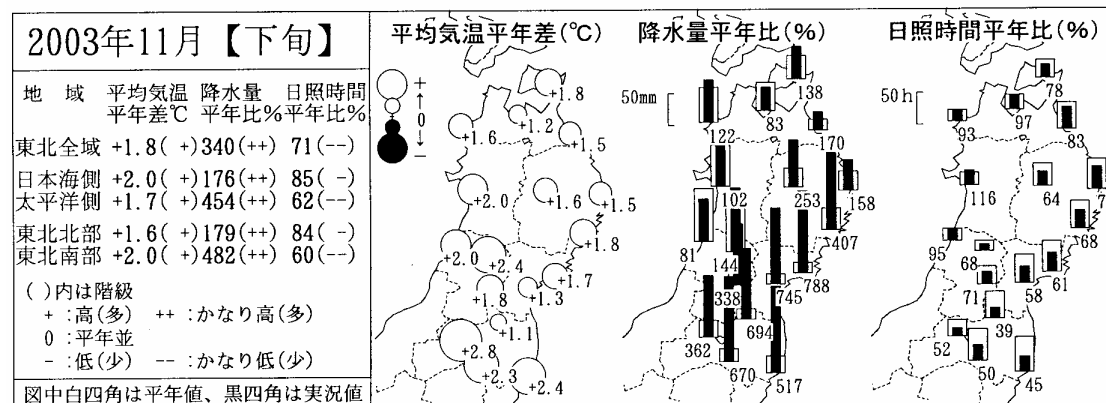
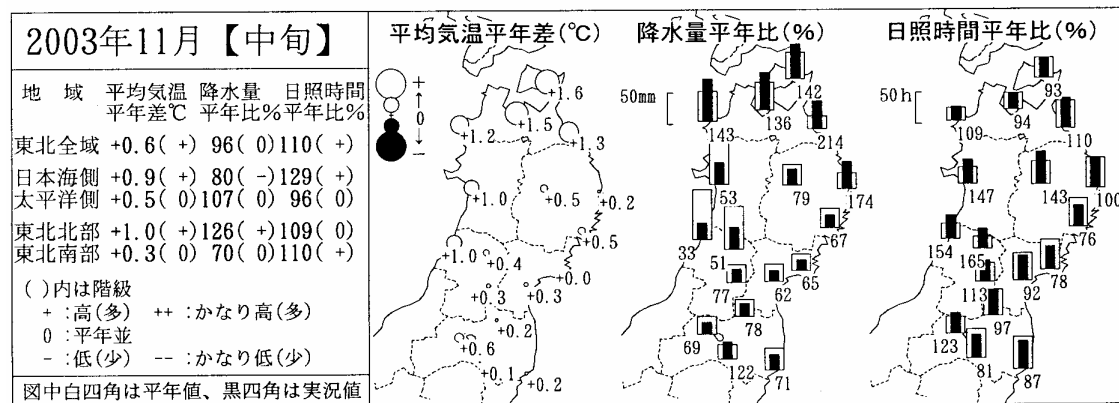
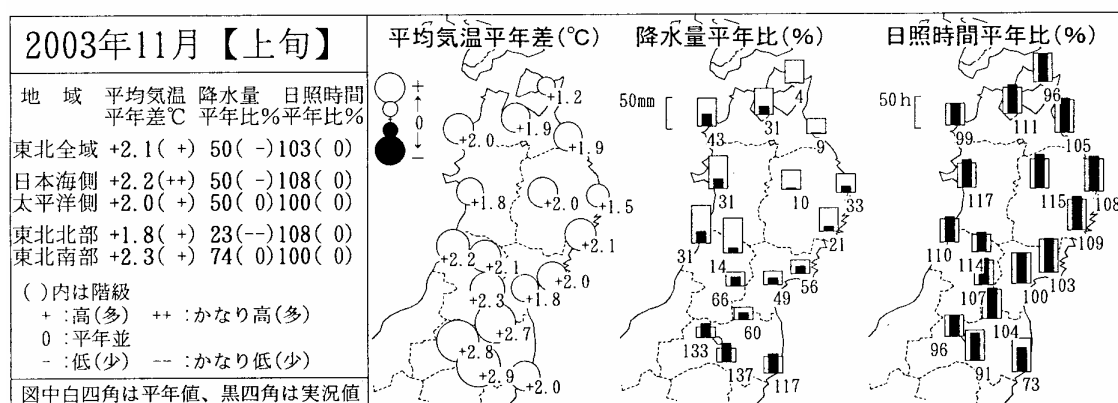
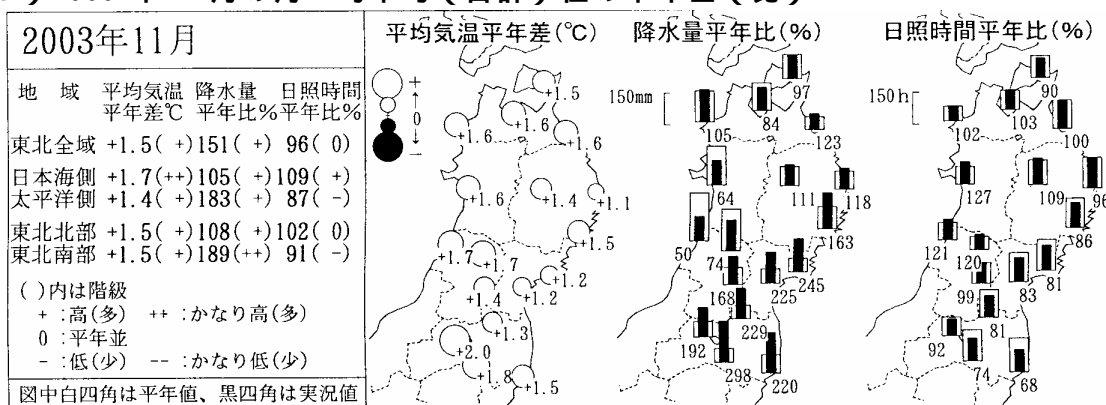
注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。

細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2003 年 11 月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方

東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 月気候表 (2003 年 11 月)

地 点	月平均気温(平年差)			月降水量(平年比)			月間日照時間(平年比)			月最深積雪(平年値)			月降雪量(平年値)		
	mm	%	階級	mm	%	階級	h	%	階級	cm	cm	階級	cm	cm	階級
青森	8.0	(+1.6)	+	111.0	(84)	0	93.9	(103)	0	5	(18)	-	7	(37)	-
深浦	9.1	(+1.6)	+	155.0	(105)	0	73.1	(102)	0		(4)	-*	0	(6)	-*
むつ	7.8	(+1.5)	+	112.0	(97)	0	96.2	(90)	-	7	(7)	0	---	(---)	---
八戸	8.2	(+1.6)	+	75.5	(123)	+	136.3	(100)	0		(2)	-*	0	(2)	-
秋田	9.2	(+1.6)	+	117.5	(64)	-	107.6	(127)	+		(5)	-*	0	(8)	-*
盛岡	7.1	(+1.4)	+	103.5	(111)	+	129.4	(109)	+		(5)	-*	0	(7)	-*
大船渡	9.7	(+1.5)	+	170.5	(163)	+	119.4	(86)	-		(1)	0	0	(1)	0
宮古	8.8	(+1.1)	+	101.0	(118)	0	140.3	(96)	0		(0)		0	(0)	
仙台	10.3	(+1.2)	+	150.0	(225)	+	117.0	(83)	-*		(0)			(0)	
石巻	9.5	(+1.2)	+	159.5	(245)	+	121.5	(81)	-*		(1)	0	---	(---)	---
山形	8.6	(+1.4)	+	135.5	(168)	+	98.2	(99)	0		(5)	-*	0	(7)	-
新庄	7.9	(+1.7)	+	145.0	(74)	-	74.3	(120)	+		(13)	-*	---	(---)	---
酒田	10.7	(+1.7)	+	113.0	(50)	-*	97.0	(121)	+		(3)	-*	0	(5)	-
福島	10.3	(+1.3)	+	145.5	(229)	+	105.3	(81)	-*		(1)	0		(2)	-*
若松	9.0	(+2.0)	+	141.0	(192)	+	80.9	(92)	-		(4)	-	0	(6)	-
白河	9.4	(+1.8)	+	194.0	(298)	+	108.0	(74)	-*		(1)	0	---	(---)	---
小名浜	12.3	(+1.5)	+	193.0	(220)	+	108.5	(68)	-*		()			(0)	

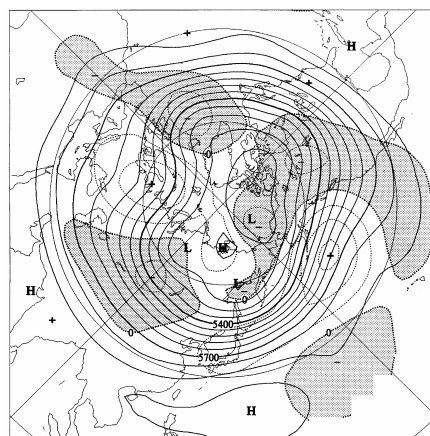
観測値欄の記号は、×：欠測)：欠測日を含む ：現象なし ---：観測をしていない
階級は +：高い(多い) 0：平年並 -：低い(少ない) *は「かなり」を表す
月最深積雪と月降雪量の階級については、平年値が「1cm」以上の場合のみ表示する

(5) 2003 年 11 月の大気の流れ

500hPa 高度の極東域を見ると、極付近は正偏差で、東経 90 度付近やオホーツク海付近には負偏差が広がったが、日本の南の太平洋高気圧は平年に比べて北への張り出しが強く、日本付近は強い正偏差に覆われた。

このため、大陸の高気圧やアリューシャンの低気圧は平年に比べて弱く、天気は数日の周期で変化し、寒気の南下は一時的で冬型の気圧配置は長続きしなかった。

東北地方は、上旬はサハリン付近を通る低気圧に向かって南から暖かい空気が入り、各地で 11 月としては記録的に高い日最高気温を観測するなど、気温の高い日が多かった。中・下旬は、寒気の影響を受ける時期もあったが、冬型の気圧配置は一時的で気温は高めに経過した。このため、初霜、初氷、初雪などの季節現象((8)参照)は平年より遅い観測となった。



2003 年 11 月の月平均 500hPa 高度
実線は高度(m)、破線は偏差(m)、
間隔 60m。陰影部は負偏差域。

注) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の 3 階級とし、それぞれの階級幅は、1971～2000 年の 30 年間に
おいて出現した値を等確率 (33.3%) に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率
10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文
にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細
分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(6) 月統計値の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間の 3 位まで。)

月平均気温 高い方からの極値・順位更新

順位	地点名	平均気温()	これまでの最高()(年)	統計開始年	平年値()
3 位	新庄	7.9	8.8 (1990)	1985	6.2
	若松	9.0	9.8 (1990)	1953	7.0
	酒田	10.7	11.5 (1990)	1937	9.0
	白河	9.4	10.0 (1990)	1940	7.6

月降水量 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量(mm)	これまでの最大(mm)(年)	統計開始年	平年値(mm)
1 位	白河	194.0	149.5 (1997)	1994	65.0
2 位	若松	141.0	146.0 (1972)	1953	73.3
	石巻	159.5	160.2 (1916)	1887	65.1
3 位	福島	145.5	202.0 (1916)	1890	63.4

月降水量 少ない方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量(mm)	これまでの最小(mm)(年)	統計開始年	平年値(mm)
3 位	新庄	145.0	64.5 (1994)	1985	195.4

月間日照時間 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	これまでの最大(h)(年)	統計開始年	平年値(h)
3 位	新庄	74.3	74.5(1993)	1985	62.1

月間日照時間 少ない方からの極値・順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	これまでの最小(h)(年)	統計開始年	平年値(h)
3 位	白河	108.0	98.7(1979)	1940	146.4

(7) 日最高気温の極値・順位の更新

(日最高気温の 3 位まで。)

日最高気温 高い方からの極値・順位更新

順位	地点名	日最高気温()	起日	これまでの最高()(起日)	統計開始年
1 位	青森	23.8	3	23.7 (1940.11. 6)	1886
	むつ	21.3	3	21.1 (1962.11. 4)	1935
	八戸	24.9	3	24.1 (1940.11. 7)	1937
	盛岡	21.3	2	21.3 (1979.11. 2)	1923
	酒田	24.2	3	23.9 (1977.11. 1)	1937
	白河	22.7	2	22.6 (1958.11.11)	1940
2 位	大船渡	22.7	21	22.8 (1979.11. 2)	1963
	深浦	21.1	3	22.1 (1940.11. 6)	1940
	小名浜	24.8	21	25.0 (1946.11. 1)	1910

(8) 季節現象の観測状況

2003年（平成15年） 季節現象（初日）									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	11.11	10.23	10.24	11.11	10.29	11. 9	11.22	11. 7	11. 2
深浦	11.24	11.17	11.30	11.24	11.19	11. 9	11.22	11.10	11. 2
八戸	11.11	10.27	11. 4	11.14	11. 2	11. 4	11.22	11.11	11. 9
秋田	10.27	11. 6	11.16	11.24	11.13	11.10	11.22	11.12	11. 2
盛岡	10.27	10.18	11. 4	10.27	10.24	11. 4	11.22	11. 8	10.28
宮古	10.27	10.31	11. 5	11.15	11. 5	11. 6	11.22	11.16	11. 9
大船渡	10.27	11. 5	10.31	11.23	11.11	11. 6	11.22	11.18	11. 9
酒田	11.19	11.12	11.16	11.24	11.20	11.16	11.22	11.17	11. 2
山形	10.27	10.24	11. 7	10.27	10.29	11. 7	11.23	11.16	11. 5
仙台	11.15	11. 6	11. 7	11.24	11.16	11. 7		11.22	11. 9
福島	11.15	11. 6	11. 7	11.15	11.11	11. 7		11.24	11. 9
若松	11. 5	10.28	11.17	11.18	11. 6	11.17	11.22	11.17	10.28
小名浜		11.11	11. 5		11.19	11. 7		12.13	11. 9

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
八甲田山	1584	10. 5	10.16	10.22	朝日岳	1870	10.17	10.19	10.29
岩木山	1625	10. 5	10.15	10.24	雁戸山 <small>カントサン</small>	1485	10.24	10.28	10.29
階上岳 <small>ハシカミダケ</small>	740		11.12	11. 9	滝山 <small>リュウザン</small>	1362	10.24	10.30	10.28
太平山	1170	11.23	10.31	10.28	泉ヶ岳	1175	11.17	11. 6	10.29
岩手山	2038	10. 5	10.13	10.22	蔵王山	1841	10.24	10.23	10.29
五葉山	1351	11.23	11. 7	10.29	吾妻山	1949	10.24	10.21	10.28
鳥海山	2236	10. 5	10. 9	10.11	飯豊山 <small>イイデサン</small>	2105	10. 4	10.17	10.26
月山	1984	10.17	10.15	10.25	磐梯山	1819	10.24	10.24	10.28

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。